

## 第 9 章 気仙沼市への提言

本調査内容を踏まえ、気仙沼市だけでなく、市民・民間企業が共同で再生可能エネルギーの利活用を進めていくにあたり、SDGs の考え方を基本とする「気仙沼市再生可能エネルギー推進ビジョン（案）」をもとに、着実に推進することを提言する。

また、当該ビジョンの実現に向けて、気仙沼市が講ずるべき施策について、以下の通り支援を期待する。

### I. 短期

#### i. 地域新電力を活用した再エネの調達と公共施設等への供給の仕組みづくり

今後地域新電力による再生可能エネルギーの地産地消を推進するにあたり、需要先としての気仙沼市の公共施設があることは、安定した電力供給事業とするためには大きな意味を持つ。今後再生可能エネルギーの供給が地域内で浸透していくよう、気仙沼市にも需要家としての全面的な協力を依頼する。

#### ii. 小規模太陽光発電設備（PPA 事業等）の実現に向けた支援措置の検討

特に、地域新電力等の民間企業の資金やノウハウを活用して小規模太陽光発電施設の導入を推進するにあたって、被災移転元地等の公共用地や隣接する需要施設等の情報の提供を依頼する。

また、小規模太陽光発電施設の導入に当たっては、民間企業の資金の積極的な投下を促進するため、償却資産税の免除する、または市有地を安価もしくは無償で賃貸するなど、その他支援措置も含めて検討を依頼する。

また、設備の設置に関連する許認可関係をできるだけ円滑に進めるため、土地や手続きに関する迅速な情報提供も依頼する。

#### iii. 電力系統網強化に向けた国・県・東北電力との協議

現在気仙沼地域では電力系統の空き容量がなく、地域資源が豊富にあるものの再生可能エネルギーの導入が難しい状況にある。そのため、電力系統網の強化に向けて、国・県・東北電力との協議も含めて、できる限りの強化策に対する交渉を依頼する。

### II. 中長期

#### i. 再生可能エネルギーの活用意識向上施策の推進

再生可能エネルギーの活用と気仙沼でこれまで行われてきた持続発展教育（ESD）等とを連携させた環境教育及び意識向上を目指し、気仙沼市と市民・民間企業とで共同で勉強会等の開催する際の全般的な支援を依頼する。

#### ii. 取組の PR 及びブランディングへの支援

スローでスマートなまちと暮らしの実現に向けた ESD やスローフード運動など各種の取組は先進的なものが多い一方、国内外への PR がまだまだ不足している。

市と市民・民間企業が一丸となって、取組を PR することで、情報発信のみならず、新たな企業誘致や市全体のブランディングにつながるはずである。

そのため、国内外に向けえた PR 活動に対する全般的な支援を依頼する。

### iii. 気仙沼市版R E 100 の創設に向けた環境整備

これまでの取組に加え、SDGs や RE100 といった世界の潮流をいち早く取り込み、先進的な地方版 RE100 の創設に向けて、地域の企業等を巻き込みながら推進することに対する支援を依頼する。